



SAKAEヤングフェスティバル

横浜市栄区青少年指導員協議会 会長 伊藤 元秀

栄区青少年指導員協議会は主要事業として、毎年3月下旬の日曜日にSAKAEヤングフェスティバルを開催しています。このイベントは、区内の中学生と青少年指導員がステージや模擬店の企画から運営まで携わって実施し、来場者数は1万人に及びます。SAKAEヤングフェスティバル実行委員会主催のもと、栄区青少年指導員協議会が主管、栄区役所が共催となって平成3年から開催しており、今年で27回目となりました。現在では、本郷台駅前広場を会場に、栄区の各中学校の生徒と各地区の青少年指導員が一体となって活躍し、区内の青少年の健全育成や地域との交流に結び付く事業となっています。

ステージには、吹奏楽をはじめ、ダンスやチアリーディング、ソーラン節など、華やかなプログラムが数多く並び、来場者の皆さまから大変好評です。模擬店も、焼き鳥や綿菓子などの定番のものから、春巻きやタピオカ、ワッフルといったものも扱い、バラエティに富んでおります。

また、平成25年からは会場に隣接する本郷台駅前道路を使用して、区内中学校による栄区中学校対校駅伝大

会も同日開催するようになり、当日は「中学生が主役の一日」として本郷台駅前が盛り上がります。駅伝大会の表彰式もヤングフェスティバルのステージにおける1コマとして位置付けています。

来年も、同時期に開催を予定しています。次回も素晴らしい開催とするために、栄区青少年指導員協議会一同頑張ります。



SAKAEヤングフェスティバル 2018 ステージの様子

地域活



1 + 1 = ∞ (無限大)

南足柄市青少年育成推進員協議会 会長 吉澤 誠一

南足柄市青少年育成推進員協議会は、平成22年に青少年指導員協議会と青少年補導員協議会が合併して発足した経緯もあり、補導活動も活発に行っています。市内3つの中学校区から自治会推薦を受けた人や中学校・高校の教諭など41名で活動しています。指導、補導、ジュニアリーダーズクラブ（以下JLC）育成を軸に、地区活



PAA21 みんなの成果

動と、成人式のサポートや金太郎まつり特別パトロールなどの全体活動を行っています。

南足柄市でも子ども会の活動休止、市のイベントの減少など、子どもたちと接する機会が減少する中、「地域のちよっとお節介なおじさん・おばさん」として日頃の声かけから、市内イベントへのボランティア参加、工作指導などを通じて、子どもたちの「体験するきっかけ」をサポートしています。

また、全体活動として、JLCの育成にも力を入れておりますが、参加者の減少が悩みの種となっています。そこで、JLCの子どもたちの「基礎力を向上させる」ことを目的に、PAA21（プロジェクト・あしがら・アドベンチャー 21）での研修を採用しました。最初は照れてなかなか声を出せないでいた子どもたちも、ファシリテーターから出される課題の解決方法をみんなで考え、力を合わせ、周囲に気配りして失敗しながらも課題を一つひとつクリアして、最後の難関をみんなで達成してみんなで喜び、「1 + 1 = ∞」となることを体感しました。自分に自信を持って自主的に活動できる姿が周囲に波及して、将来の大きな力となることを望んでいます。